

関西浦高会・通信

武田尾廃線跡&桜の園ハイキング

恒例となったお花見会を、4月9日に実施しました。今では、桜といえば“ソメイヨシノ”が一般的になりましたが、今回は、野生種の桜を

観賞するお花見ハイキングです。一昨日は、春の嵐となり雨風が強く荒れた天気

で心配しましたが、当日は絶好のハイキング日和となりました。10時にJR福知山線武田尾駅に集合、関西浦高会会員5名が参加、一ノ瀬氏（高11）の友人で桜の園（亦楽山荘）“桜守の会”会長の土井氏の案内で、廃線跡から“桜の園”内の約8kmを、説明を受けながらゆっくりとめぐりました。武庫川に沿ったバス道を行くとカスミザクラが迎えてくれます。右側には、武田尾温泉へ続く橋が架かっていて「歓迎」と赤い字で書いたアーチがあります。現在、武庫川の改修工事が行われていてダンプカーが行き来していました。改修工事の作業域側にオオシマザクラがあり、土井氏から桜の種類の見分け方や特徴を教えてくださいました。ヤマザクラ、枝垂桜を見ながら、しばらく行くと、旧福知山線の廃線跡に入り、線路の跡の「旧線道」が始まります。



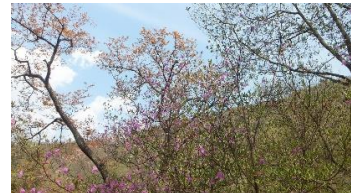
廃線跡入口から正面を臨むと山肌にヤマザクラがピンク色の塊で点在していました。



二つのトンネルを抜けると広場に出ます。ここから、亦楽山荘（桜の園）の新緑の山に入ります。もみじルートを登って行くと、自生した椿の朱い花が、登山道に落下しています。さらに上がり、広場に出るとコバノミツバツジが青空を

バックに咲いていました。

ここから、笹部新太郎氏が桜の研究をしていた小屋の前に出て、ベンチに腰を下ろしてヤマザクラや青もみじの景色を見なが



ら昼食です。休憩後、ヤマザクラを見下ろしながら山道を下り元の入口まで戻ってきました。ソメイヨシノとはまた趣の異なる、緑の中に囲まれた野生種の桜を愛でる約5時間のハイキングでした。

